

こんなにある恐怖症

総務課 西村 知子

突然ですが、私は編み物をする編み棒が苦手です。苦手といっても編み物が苦手、編み物が出来ない、という意味ではなく、編み棒の先端の尖った部分を見ると恐怖を覚えてしまいます。持つのも怖いので、そういう意味では編み物が出来ない、という事かもしれません。

同じく傘の先端部分にも恐怖を感じます。さすがに傘は使うので触る事はできますが、目の前で傘を振り回されると、とんでもない恐怖を覚えます。

この現象は一体何なんだろう？と思い、調べたところ「先端恐怖症」という言葉に、いきつきました。

先端恐怖症(belonephobia)

鋏・針・鉛筆・刃物・前髪・顎など、先端が尖ったものが視界に入った時に強い精神的動揺を受ける、恐怖症の一種である。症状としては、尖ったものが目に向かってくるような錯覚を覚え、恐怖感により一時的に目が開けられなくなるなどが挙げられる。過去に、先端について怖い思い出があると起こる場合もある。

先端が尖ったものが身近に近づいた時に、周囲からの視線が集中したり、身近に存在する先の尖ったものを遠ざけられる事が頻繁に続いている事を意識する環境にいと、「自分は周りの人を刺してしまう様な見られ方をしているのかも知れない」といった錯覚に捉われ、恐怖心が出てくる場合があるが、考え方により克服も可能な場合がある。

他人に指差された場合にも、同様の症状が出ることもある。

過去に、先端について恐怖を覚えることがあると起こる場合もある。

Wikipediaから



さすがに前髪に恐怖を覚える事はないので、私の場合は軽傷なのかなあ？ でも目に飛び込んでくるような恐怖を覚えるのはこの恐怖症に当たりますね。独断ですが、私はこの恐怖症を患っているのだと自己診断しました。

中には紙の端がダメな人や症状として身体的苦痛（動悸・めまい等）の発作を起こしたりする場合もあるそうです。紙がダメって、それもう社会生活、困難じゃない？って思うのですが、人によって恐怖レベルは様々なのですね。

そんな事を機に、「恐怖症」について調べてみました。世の中にはまだ知られていない恐怖症というものが沢山あります。

こんなにある恐怖症の種類

- | | | | |
|---------|----------|-----------|-----------|
| ●姑恐怖症 | ●人形恐怖症 | ●衣服恐怖症 | ●文字恐怖症 |
| ●料理恐怖症 | ●風船恐怖症 | ●不潔恐怖症 | ●蟻(アリ)恐怖症 |
| ●子供恐怖症 | ●ピエロ恐怖症 | ●花恐怖症 | ●黄色恐怖症 |
| ●おへそ恐怖症 | ●着ぐるみ恐怖症 | ●学校恐怖症 | ●風恐怖症 |
| ●脂肪恐怖症 | ●湖恐怖症 | ●広場恐怖症 | ●圏外恐怖症 |
| ●アゴ恐怖症 | ●意見恐怖症 | ●良い知らせ恐怖症 | ●巨像恐怖症 |
| ●睡眠恐怖症 | ●閉所恐怖症 | ●先端恐怖症 | ●対人恐怖症 |
| ●美人恐怖症 | ●ひざ恐怖症 | ●電話恐怖症 | ●嫌われ恐怖症 |
| ●醜形恐怖症 | | | |

え…？衣服恐怖症って…？ 姑恐怖症なら、なんとなーく、理解できるんだけども…（笑）

日常で、あれ？なんかおかしいな？こんな事が苦手なんて…。と思う事があれば、それはなにかの恐怖症かもしれません。恐怖症は自覚する事が克服に繋がる第一歩ですので、まずは調べてみてくださいね！

個人的には「料理恐怖症」になって料理全般から逃れたいと願う私。「恐怖症詐欺」かしら？（笑）

ビジネスマナーは大丈夫？

外販課 西口 晃平

今回、アポロ新聞初投稿になる外販課の西口です。昨年7月に入社し早11ヶ月が経ちました。

アポロ興産に入社するまでは、営業職に就いたことがなく、経験、知識等が乏しいですが、毎日、様々な場面での出来事すべてが勉強であり、経験になり、新鮮な気持ちで職務に取り組んでいます。そんな中で自分自身、気になっていることがあります。それは“社会人としてのビジネスマナー”です。今まで特に気にしたことがなく生活をしてきましたが、この仕事を通して“お客様に対して失礼な思いをさせていないか”と不安になることが多々あります。

そこで、今回はビジネスマナーについて紹介させていただきます。

ハキハキと挨拶する

ビジネスにおいて、挨拶はすべての基本です。

仕事では職場のさまざまな人と関わりますが、すべての人と毎日接点があるとは限りません。入社時と退社時に挨拶を交わすだけで、業務で日々お世話になっている上司や先輩のみならず、あまり接点がない人にも自分を印象づけることができます。

さらに、ただ挨拶するだけではなく、相手の目を見て挨拶すれば、世代を問わず好印象を与えることができます。

時間を守る

遅刻や納期破りなど時間を守れない人は、一分一秒を争うビジネスの場では信用されず、たとえ仕事ができても評価が下がってしまいます。そのため、社会人として働くうえでは、15分前行動が基本と考えましょう。

電車遅延などで、どうしても遅れてしまう場合は、相手に必ず連絡を入れ、理由とお詫び、「〇時には到着します」と、いつ到着するのかを具体的に伝えましょう。

身だしなみ

男女ともに身だしなみで最も大切なのは「清潔感」です。不潔にしていると周囲に不快感を与え、あなたの評価も下がってしまいます。男性の場合は、服装やヘアスタイル、スキンケアを中心に気をつけましょう。

・服装

自分のサイズに合ったスーツやシャツを選びましょう。また、デザインについては奇抜なものを避け、ビジネスにふさわしいシンプルなものを選ぶ必要があります。きちんとアイロンをかけた上で、汚れやすい袖ぐりや襟ぐりはこまめに確認しましょう。

靴も同様に、ビジネスにふさわしいシンプルなものを選んだうえで、汚れがないようにきちんと磨きましょう。

・ヘアスタイル、スキンケアなど

定期的にカットに行き、整った状態をキープしましょう。企業によってはヘアカラーが許されることもありますが、基本的には黒髪が無難です。特に、金髪などの派手な色は避けるようにしましょう。

また、ヒゲの剃り残しがないよう注意しましょう。額がテカっている、爪が伸びているなども不潔感を与えるため、こまめなケアを忘れないようにしましょう。

また、体臭は自分で気がつきにくいポイントのため、特に注意しましょう。具体的には口臭・汗臭さ・ワキガ・酒臭さなどに気をつけ、タブレットや制汗スプレーなど専用のアイテムを用いてケアしましょう。

といったように、上記の内容は社会人として“最低限のマナー”だと思います。私自身、まだまだ未熟な部分があると思いますが、十分に気をつけながら日々精進していきます。そして、将来は「一流のビジネスマン」と呼ばれる存在になれるよう頑張っていきます。

